

とらいあんぐる菅生

http://sugaochikyo.web.fc2.com

E-mail: toraianguru@mx81.tiki.ne.jp

TEL&FAX 976-0444

連続学習会開催

あなたも一緒に 考えませんか?

菅生中学校区地域教育会議では菅生分館と共催で、昨年度に引き続き菅生家庭・地域教育学級を開催します。昨年度は「子どもたちがおかれている状況を知る」ということが主題でしたが、今回は「何ができるのか? 何をしなくてはならないのか?」を主題とします。

そこで、講師陣も実際に悩みながらも、子どもたちと共に歩んでいらっしゃる方々となりました。ぜひ共に学び、共に歩みだしませんか。

1 12/3 子どもたちに寄り添う中で見えてきたことは…
渋谷を中心に子どもたちの声を聴きそれを発信し続けている橋ジュンさん(ライター)に伺います。

2 12/17 子どもたちのホンネって…?
会場 菅生小学校 時間 4~6時
いじめ、少年問題、それに関わる女性問題について子どもの視点で発言を続けている青木悦さん(ジャーナリスト)に伺います。この回は公開講座です。

3 1/28 学習支援の取り組み事例に学ぶ
大学生や社会人を学校に派遣して学習支援をしているNPOの活動について代表理事松田悠介さんに伺います。

子どもたちのために、地域ができることは…

4 2/4 これからの私たちにできることは?
それまでの話を踏まえて、今後の方向性を探しましょう。

5 2/18 私にとっての学び
~不登校からの出発
中学生で不登校になり、高校卒業程度認定試験で高校を終え、現在、学生の近藤桃子さんにお話を伺います。

6 2/25 「道親」さんのいる町
安心できる「Home」とは
フリーライターの北村年子さんに道で出会う大人の役割~親に否定されても肯定してくれる道親に出会えば子どもは救われる…そんな大人になるためにどうしたらいいかを伺います。

日程 12月3日~2月25日 金曜 全6回
午後6時30分~8時30分
内容等、詳しくは上のプログラムをご覧ください
*12月17日は午後4時~6時(会場 菅生小学校)

会場 宮前市民館菅生分館

対象 関心のある方ならどなたでも 先着30名

申込 菅生分館へ電話でお申込ください

☎ 977-4781

1回のみ参加は11月26日(金)から電話でお申込ください。

協力 菅生中学校PTA 菅生小学校PTA 稗原小学校PTA

主催 菅生中学校区地域教育会議・川崎市教育委員会

<公開講座>

「子どものホンネって…?」

講師 青木悦さん
(ジャーナリスト)

「親に心配をかけたくない、がっかりさせたくない。親だけには知られたくないという子どもたち。そして、我が子がわからないという親…」

そんな子どもたちのホンネを私たち大人はどれだけ理解しているでしょうか?ご一緒に考えませんか

12月17日(金)

午後4~6時

どなたでもご参加いただけます

会場 菅生小学校音楽室

申込 電話で菅生分館へ

☎ 977-4781

「いじめ～不登校・ひきこもり・自殺」から子どもたちを守るためには

今年6月、多摩区の中学3年生がいじめを苦に自殺した不幸な事件がありました。「いじめはどこにでも存在する」という認識の上で、「いじめを発見する」「いじめを解決する」「不登校にさせない」「自殺させない」という活動が大切ではないでしょうか？今回、神奈川県教育委員会の「平成21年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査」結果が8月に公表されましたので、県内におけるいじめの現状とともに、菅生中学校区3校のいじめに対しての取り組みを紹介します。



件

【県内のいじめの認知（発生）件数】

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
小学校	2068	1397	1320	1198
中学校	3209	2569	2421	2256

○認知件数は3,454件と、**3年連続で減少**している。

○県教委は「いじめの日常的な実態把握のためアンケート調査や個別面談を実施している学校が増加している中、いじめの認知件数が減少していることは、**各学校における未然防止の取組みの成果と捉えられる**」と分析している。

【県内の学年別いじめの認知（発生）件数】

件

	小学校							中学校			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
男	26	73	72	134	151	181	637	591	431	260	1282
女	18	42	50	95	169	187	561	472	339	163	974
計	44	115	122	229	320	368	1198	1063	770	423	2256

○小学校では高学年になるほど認知件数が増え、**中学校では1年生が多い**。

【いじめの発見のきっかけ】

%

	小学校	中学校
1 学級担任が発見	33.7	本人からの訴え 30.3
2 当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	29.3	学級担任が発見 25.7
3 本人からの訴え	19.9	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え 18.2
4 児童生徒(本人を除く)からの情報	6.7	学級担任以外の教職員が発見 9.5
5 保護者(本人の保護者を除く)からの情報	6.6	児童生徒(本人を除く)からの情報 5.7

○友人からの情報による発見が少ないというのは問題。

○中学生になると本人がいじめを訴えられるが、小学生はむずかしい。周囲の観察が重要。

【認知されたいじめ】

%

	小学校	中学校
冷やかす・からかい・悪口・脅し文句、嫌なことを言われる	① 66.8	① 61.3
仲間はずれ、集団による無視	② 27.0	③ 16.9
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	③ 22.0	② 18.7
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	④ 6.7	④ 9.4
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	④ 6.7	⑤ 8.3

○物的・肉体的ないじめでなく、**言葉や精神的ないじめが上位**を占めている。

【いじめられた児童生徒の相談状況】

%

	小学校	中学校
学級担任に相談	① 65.0	① 66.7
保護者や家族等に相談	② 43.2	② 30.1
学級担任以外の教職員に相談(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	③ 18.9	③ 21.8

○友人でなく大人に相談。**周囲の大人が相談しやすい環境・雰囲気**をつくるのが大切。

【各校での取り組み】

菅生中学校では…

「いじめ」は主として<携帯・ネット>を通して発生している。

<対応としては>

- 1) 教職員間で「いじめ問題」の共通理解を図るために職員研修会を開いている。
- 2) スクールカウンセラー（臨床心理士）に相談をしている。少しでも減らすべく真剣な対応が非常に有効に働いている。
- 3) 恵まれない世界の子どもたちを題材にした「地球のステージ」や「携帯でのいじめ」について講演会を学内にて開催、いじめで苦しんでいるのは「自分だけではない、沢山いるのだ」といった実態や人権問題について生徒、保護者、地域の方々と共通認識をもつようになっている。
- 4) 道徳や学級活動の時間にいじめに関する問題を取上げ、教育指導をしている。

<学校側から保護者方へ>

課業時間内に行われる「教育相談」での生徒の悩みなどについて、各家庭・保護者の方々と共通理解をし、悩み解消に向けて一緒に考えて、協力し合っていきたい。

菅生小学校では…

〇いじめに対する教員の共通認識が第一と考え、ケーススタディも盛り込んだ研修会を行った。

〇いじめの発見については、教員と児童にアンケートを実施したり、授業外の休み時間や放課後にもコミュニケーションをとり、教員へ相談しやすい環境づくりをめざしている。

〇保護者やこども文化センター・わくわくプラザとの連携もはかり、学校外でのいじめについても情報をキャッチできるように心がけている。

〇児童に対しては、道徳の授業や川崎市「共生共育プログラム」などにおいて「いじめ」についての直接的・間接的な教育を行っている。

<学校側から保護者方へ>

- ・お子さんの様子がおかしい時は、安心して話せる関係を作っていただけると良いと思います。
- ・その上でお子さんの気持ちに寄り添いながら、状況を客観的に見ていただければと思います。
- ・学校の相談窓口は、山岸・栗生・楽田です。お気軽にご相談ください。

稗原小学校では…

今年、稗原小は『日本一楽しい学校、日本一元気な学校、日本一明るい学校』を目指して、教師、学校、地域が一つになって取り組みを進めている。その一つの取り組みとして、安心・安全な学校、いじめのない学校を目指している。いじめのない学校・早期発見という視点では次のような取り組みをしている。

- ① 普段の様子と違う子どもの早期発見、言動の気になる子への指導。（クラス担任として）
- ② 気軽に話し合えるクラス作り、保護者との緊密な信頼関係の構築。
- ③ 仲間を大切にしている活動。（お誕生日会、お楽しみ会、ドッチビー大会への参加など）
- ④ 思いやりの心を育てる朝会等での校長先生の話。
- ⑤ 校長室近くにある『校長先生への手紙』など、いじめを作らない、許さない雰囲気作りを大切にしている。また、毎朝、校長先生の朝の挨拶、代表委員会による挨拶運動など。
- ⑥ 人権を意識した普段の授業内容の工夫。

<いじめを認知した時の対応は？>

担任による聞き取りや保護者への連絡、そして必要に応じて学年での相談。内容によっては管理職との面談など、『いじめは絶対に許さない』という基本スタンスに立ち、解決とその後のフォローも行っている。

<学校側から保護者方へ>

- ・お子さんの様子を普段からよく見ていただき『何か心に抱えている物』はないかを注意していただければありがたいです。
- ・さらに、普段から何でもよく話せる関係を築いていくことも必要だと思います。
- ・そして、何かあったらすぐに担任に知らせていただくことをお願いしたいです。（そのために学校も話せる雰囲気作りをします。）
- ・最後に『いじめ』の重大さをみんなが共通理解し、いじめを起こさないよう学校と家庭と地域が常に連携をとっていくことが求められていると思います。

第7回 菅生音楽祭

地域で支え合い、生きる力を育てよう
勇気と希望を持って、一步踏み出せ！

地域教育学習委員会では今年も音楽祭を企画しています。今年は出演団体を公募しました。ぜひご参加ください。

日時 12月11日(土)10時～

開場 9時30分

会場 菅生中学校体育館

出演団体 菅生中学校吹奏楽部

菅生小学校 稗原小学校

わくわくプラザ コールエスパーンサ

親栄会 富美の会 菅生保育園

蔵敷こども太鼓連 Asian Winds

キッドビックス

* 当日、豚汁(ご飯付)の販売があります。



着々と工事進展 菅生こども文化センター



菅生こども文化センターが老朽化のため今年度4月から工事に入り、地域の皆様には多々ご迷惑をおかけしています。

解体工事が始まったのが6月に入ってから。そして、新たに着工したのは8月も末でした。冷暖房を「地熱利用」し、環境にやさしい設備にするために、5mも掘り下げ、パイプを地下に埋める作業から開始されました。

現在では、ようやく基礎工事も終了し、本格的な建設工事が始まりました。

素人目には「間に合うのかな」と思いますが、「間に合うように努力しています」とのことです。完成まであと暫くです。楽しみにしててください。

中学生と大人で話し合いました

地域教育会議の中に子ども会議実行委員会があります。菅生中の生徒たちが毎月集まって「菅生のまちづくり」を模索しています。そのなかで「大人の意見を聞いてみたい」という声があり、「子どもに寄り添う会(地域教育会議)の「子どもたちの生の声を聞きたい」という気持ちが一致。9月15日に菅生中で「子どもと大人の対話集会」を持ちました。当日、学校の行事のため参加できた生徒は7人、大人も6人という少人数の対話集会に。

中学生からは「平瀬川の親水公園で遊んでいると学校に通報されたり、コンビニの駐車場にしていると注意されたりする」「学校帰りにちょっとたまっておしゃべりできるような『たまり場』がほしい」との意見が出ました。帰宅して着替えて行く施設とは異なり、少しの時間、友人との立ち話や交流ができる場も求めているようです。

子どもたちとの対話を通して、中学生の現実と大人の姿がリアルに。中学生の状況を理解し、もっと居心地のいいまちにしていけないものか。子ども会議として子どもたち自身が解決できるような方向性も見えつつあるような気がします。



大人からの質問は・・・

Q：大人を「うざい」と思うのはどういうとき？

「説明がなく自分の価値をおしつけるとき」「言ってることと行動が矛盾しているとき」

Q：地域の大人をどう思う？

「あまり接点がない」「学校からの帰りに『お帰りなさい』と言われると嬉しい」「校内で挨拶しても返事をしてくれない地域の人がいる」「犬の散歩中、糞の始末をしない人がいる」

Q：悩みごとをじっくり聞いてくれる大人はいる？

「悩みは友だちに相談することが多い。伝えやすい。状況を理解してもらえる」「母親に相談する」「大人は忙しそう。悩みは話せない」

Q：タバコを吸っている子やこども文化センターの施設を壊す子たちに対して、どうしたらいいと思う？

「その子の意志の問題だと思う」「行事の練習はあまり参加しないが、本番では一緒にやる」